

登録日 2022/12/27

レジメン名 BRE032

腫瘍名 乳がん

申請医師 乳腺外科

投与スケジュール

PTX+Pertuzumab+Tmab				21日毎 × PDまで			
				1コース		2コース	
				1	8	15	22 ... (Day)
①	デキサート 生理食塩水	6.6 mg 50 mL	点滴 15分	↓			↓
②	生理食塩水 (前投薬フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
③	パージェタ 生理食塩水	420 mg 250 mL	点滴 30分	↓			↓
初回投与量: 840mg、2回目以降投与量: 420mg 初回60分投与、2回目以降30分に短縮可能							
④	生理食塩水 (パージェタ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
⑤	トラスツズマブBS 蒸留水 生理食塩水	6 mg/kg 20~40 mL 250 mL	点滴 30分	↓			↓
初回投与量: 8mg/kg、2回目以降投与量: 6mg/kg 初回90分投与、2回目以降30分に短縮可能							
⑥	生理食塩水 (トラスツズマブ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
⑦	ボラミン ファモチジン 生理食塩水	5 mg 20 mg 50 mL	点滴 15分	↓			↓
⑧	デキサート ボラミン ファモチジン 生理食塩水	6.6 mg 5 mg 20 mg 50 mL	点滴 15分		↓	↓	
⑨	パクリタキセル 5%ブドウ糖液	80 mg/m ² 250 mL	点滴 60分	↓	↓	↓	↓
⑩	生理食塩水 (パクリタキセル用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓	↓	↓	↓

注意事項

<p>【適応】 ・パージェタ+トラスツズマブ+化学療法の治療歴がある進行、再発乳癌における三次治療以降</p> <p>【使用上の注意】 ・パージェタおよびトラスツズマブは、病理結果にてHER2蛋白陽性者に限る。 ・パージェタおよびトラスツズマブは、初回投与の認容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。 ・パージェタおよびトラスツズマブ投与の際には、心エコーによる心機能を確認する。 EF値の基準は、適正使用ガイドを参考とする。 モニタリングの頻度は、通常の患者では12週毎、無症候性心機能障害者では6~8週毎に行う。 ・パクリタキセルはインラインフィルター(0.22μm以下)を使用する。</p> <p>【投与延期してから再開する際の用量】 ・パージェタ : 前回投与から6週未満 ⇒ 420mg、前回投与から6週以上の場合 ⇒ 840mg(次回以降420mg) ・トラスツズマブ : 前回投与から6週未満 ⇒ 6mg/kg、前回投与から6週以上の場合 ⇒ 8mg/kg(次回以降6mg/kg)</p> <p>【減量及び中止基準の参考値】 ・臨床試験、適正使用ガイドを参考とする ・パージェタおよびトラスツズマブは原則、減量しない</p>
--

参考文献

<p>1) Cancer Sci, 113, 3169-3179 (2022). 2) 乳がん診療ガイドライン2022年 3) パージェタ、トラスツズマブ、パクリタキセル添付文書 4) パージェタ、トラスツズマブ適正使用ガイド 5) Cancer Science, 113, 3169-3179 (2022). 6) Breast Cancer Res Treat, 158, 91-97 (2016).</p>
--